



美人ショップ店員の連絡先を、
スマートに訊き出す技術

※はじめに

このレポートは、僕が知っているモテ男たちが行っている、狙った女性店員と仲良くなり、さらには連絡先まで訊き出してしまおう方法をまとめたものになります。

ただ、彼らが行っている方法は、各々独自性があり、このレポートは、あくまで彼らが行っていることに共通したものをピックアップし、それらを体系立てたものにはすぎません。

ここで紹介するのは、

「こうすれば絶対に上手くいく！」というものではなく、上手くいかせるための考え方が学べる、という前提で読

んでいただければ、あなたのお役に立てるものになると思います。

これ以外にも、狙った女性店員と仲良くなり、連絡先を交換できる方法は無数に存在していると思います。あくまで、無数に存在している方法の一つをシェアさせていただいている、というご認識の下で、読んでいただければ幸いです。

■最大の障壁

はじめに質問します。

ショップ店員にあなたのドタイプの美女がいて、なんとか連絡先を交換したいと考えたとき、どんなことに難しさや壁を感じますか？

...

おそらく、

『お客である自分が、どうすれば“自然に”店員と連絡先を交換できる状況に持っていけるのか？』

といった、相手を誘導することに、難しさを感じるので

はないでしょうか。

当たり前ですが、お客であるあなたが、いきなり
「連絡先を交換してください！」

なんて言い出せば、100%怖がられます。

次会ったときは、警戒されて、ちょっと近づいただけで
キョリを置かれるような状況になっていることでは
しょう。これは、あなたが求めている展開ではないと思いま
す。

だから、

「連絡先、交換しましょ。」

と言い出すのが、自然である状況を作り出す必要があります

ます。

そもそも、どんな状況が自然に連絡先を交換できる状況なのか。また、どういうふう to 誘導すれば、その状況を作り出すことができるのか。

おそらく、あなたが知りたがっているのは、この疑問に対する答えだと思います。

ですから、本レポートでは、この2つの疑問に沿った解答をあなたにお伝えすることをはじめの目的とし、その後、

実際に、あなた好みの美人ショップ店員がいた時、連絡先を交換するまでの状況に持っていけるだけの知識・技能をあなたに身に付けていただくことが、本レポートの最大の目的となります。

■多くの男性が辿る、失敗パターン

まず、あなたにやって欲しくない失敗パターンをお伝えします。ここを押さえていただくことで、成功パターンも見えてくるようになります。

今は、SNS（ソーシャルネットワークサービス）が主流になって来ていますよね。一昔前は、連絡先を交換しようと思ったら、長～いメールアドレスを打ち込んでもらったり、個人情報性が高い電話番号を教えたりと、いろいろな抵抗が立ちはだかる状況でしたが、今は ID を渡せば、簡単に連絡を取り合えてしまえる環境が整っています。「LINE」が、その象徴だと思います。

だから、その手軽さをいいことに、

「LINE ID を書いたこの紙さえ渡せば、あの子と連絡先を交換できるぞ…デヘヘ」

とかって考えて、それを受け取った女性店員が何を思うのかも考えずに、暴走してしまうのです。

…残念ですが、その男性の紙は、ほぼ間違いなく破り捨てられます。

この理由、分かりますか？

そもそも、どこの馬の骨とも分からない男から、いきなり連絡先が書かれた紙を渡されたら、その女性店員は、どう思うのでしょうか？

「気持ち悪いな…」

「下手に連絡したら、期待させてストーカーされるようになるかもしれないな…」

「そもそも、興味がないし、返信する理由なんてない。」

そう思われるのが、関の山です。

当たり前ですが、結果はスルーされます。

紙は即ゴミ箱行きです。

美人な女性店員ほど、多くの男性客から誘いを受けています。そして、彼女たちは、その対処法もきっちり確立しています。

“受け取る時はニッコリ受け取って、紙は即ゴミ箱に捨てる”

このレポートを手にしていただいているあなたには、そのパターンに陥って欲しくありません。ショップ店員から連絡先を訊き出すというのは、一朝一夕にできることではないのです。しっかりと時間をかけて信頼関係を構築しなければなりません。まずは、ここを押さえておいてください。

しかし、やるべきことの1つ1つは、難しいことではありません。当たり前のことを、当たり前になすだけで、関係構築は達成されていきます（ただし、時間はかかります）。

だからこそ、「当たって砕けても構わない！」といった、運任せの行動に出ることは、今すぐやめてくださいね。これからお伝えする、確かな理論に基づく戦略に従って行動すれば、あなたのチャレンジは高確率で成功していきます。

■まずは、**第一印象**で勝つことから

例えば、

あなたがこんな女性からアプローチをされたとします。

- ✓ 太ってて、
- ✓ 肌も吹き出物でアレまくってて、
- ✓ 歯も黒ずんでて、
- ✓ 髪もフケがついててボサボサで、
- ✓ 変な臭いもする女性。

そんな女性から、

「これ、私の LINE の ID です。良かったら、連絡くださ

い^^」

と、いきなり紙を渡されたら、どう思いますか？

...

困りますよね。

それを通り越して、気持ち悪さすら感じるかもしれません。

どう間違っても、その女性に連絡を取ったりはしないと思います。どうせだったら、誰もが認める可愛い子からアプローチされたいじゃないですか。

しかし、恋愛経験が浅い多くのヘタレ男は、今あなたが嫌だと感じたことを女性にしてしまっています。ドタイプの女性店員を目にした途端に、思考レベルが猿以下に

なって、

「これ、僕の LINE の ID です！良かったら連絡ください！」

と、やらかしてしまっています。

もしあなたが、こんな男性であった時を想像してください。

- ✓ 肌はニキビだらけで、
- ✓ 耳から粉も吹いていて、
- ✓ 髪もボサボサで、
- ✓ ダッサい服装で、
- ✓ 不潔感を感じさせる変な生活臭もする

そんな男性から紙を受け取った、その女性店員はどう思

うでしょうか？

**「こんな男に好意を寄せられても、気持ち悪い
だけだし…」**

おそらく、これです。

気持ち悪いと思われた時点で、終わっています。

女性店員から、恋愛対象として意識される可能性は、絶対とは言い切れませんが、ほぼ0パーセントだと思います。

理由は簡単で、第一印象の時点で、**すでに圏外に飛ばされているから。**

女性は、男性をパッと一目見た時、その1秒後には、恋

愛対象として「アリ」か「ナシ」かを判別しています。

女性と恋愛を上手くいかせるためには、まずは第一印象で「アリ」にカテゴライズされることが、必ず必要です。そこではじめて「仲良くなる」ことができるようになります。

これが、大前提として必要になるのです。

ここで、「ナシ」にカテゴライズされてしまうと、一生チャンスはありません。

女性はそもそも、一緒に歩いていて、誇らしい男性を求めます。清潔感があって、爽やかで、その人と一緒に歩いていても、全く恥ずかしくない男性を求めます。

ここまで聴いていると、

「結局、イケメンに限る話なんですよ。」

と、思うかもしれません。

が、実はそうでもありません。

女性は、

イケメン＝顔の作りが良い

というわけではなく、

雰囲気イケてるかどうか？の方を大事にしています。

たとえば、少しばかり顔の作りが良くなくても、

- ✓ 肌はキレイで手入れされている感があって、
- ✓ 髪もしっかりセットされていて、
- ✓ 髭もちゃんと剃られていて、
- ✓ 服装もフィット感のあるサイズでオシャレで、
- ✓ いい匂いの香水の香りもする。

そんな雰囲気イケメンの男性であれば、女性にモテます。

逆に、顔の作りが良かったとしても、

- ✓ 肌はニキビだらけで、
- ✓ 耳から粉も吹いていて、
- ✓ 髪もボサボサで、
- ✓ ダッサい服装で、
- ✓ 不潔感を感じさせる変な生活臭もするような男性

であったならば、

「コイツ、ないわ。」

と判断され、一瞬で圏外に飛ばされて試合終了です。

ここまで聴いていただければお分かりだと思いますが、
要は、センスの問題なのです。

- ✓ 食生活を考えたり、ちゃんと毎日洗顔したりして、肌トラブルを起こさないように気を付けているか？
- ✓ 髪型を整えたり、髭を剃ったりして、清潔感を演出する大切さを心得ているか？
- ✓ 服装にも拘って、ちゃんとオシャレな服を着ようと意識してるか？
- ✓ 臭いにも気を使って、香水で良い香りを演出する大切さを知っているか？

そうした、女性を気遣うセンスがあるかどうか？なのです。

「コイツ、ないわ。」

と思われるのは、女性を気遣うセンスがないからです。

これは少し極端な例ですが、
例えば、あなたがこれから一人暮らしをするとして、どこかのアパートを借りることになったとき、耐震基準をしっかりと満たしている物件と、満たしていない物件の二択があったとき、どちらを選びますか？

...

基準をしっかりと満たしている物件を選びますよね？

決して、基準を満たしていない物件は選ばないと思いま

す。

どうしてですか？

基準を満たしていないから。

もしものことがあった時、自分の身が危なくなるから、
ですよ？

こうした、基準を満たしている、というのは男女の恋愛
においても、とても大切です。

女性も、男性に対して求めている**第一印象における基準**
を持っています。

レベルの高い女性を惚れさせる、本当にモテる男性ほど、
第一印象における基準をしっかり満たしています。

- ✓ 肌がキレイ
- ✓ 髪型もバッチリ決まっている
- ✓ 髭も剃られている
- ✓ 服装もフィット感のあるサイズでオシャレ
- ✓ いい匂いがする

そんな爽やかで清潔感のある男性は、当然お店にいただけで、女性にとって気になる存在として意識されます。

この状態になってはじめて、狙った女性店員とのコミュニケーションがスタートします。

■狙った女性店員と仲良くなる

さて、重要なのはここからです。

第一印象で、女性店員から「アリ」だと判断された後、さらに、

- ✓ 女性店員と連絡先を交換してしまう男性と、
- ✓ 交換できない男性

この二通りに分かれていきます。

このレポートの冒頭でも話しましたが、第一印象でいくら女性から評価されていたとしても、いきなり

「連絡先を交換してください！」

なんて言い出せば、その女性店員からは、ほぼ間違いな

く怖がられます。

理由は簡単で、仲良くもなっていないのに、いきなり連絡先を訊くという不自然さがあるから、です。

そもそも、「**連絡先を交換する**」というのは、仲良くなっていて、さらに仲良くなるためにするものです。

連絡先を交換してしまう男性は、狙った女性店員と仲良くなった上で、連絡先交換のオファーを投げています。

そのためのコミュニケーションの展開の仕方は、各々違って、一見、その人本人だけの専売特許のように感じるのですが、ある共通点が存在します。

それが、

“女性店員を楽しませている”

というものです。

「なんかこの人と話していると楽しいな。」

「もっとお話ししてきたいな。」

そんなふうに思わせるのが、とても上手なのです。

例えば、こんな感じです。

僕には、よくスターバックス（以降、スタバ）に行く習慣があるのですが、いつも行くスタバとは違うお店に行ったとき、たまたま、いつも見かける女性の店員がいました。

応援に来ていたのです。

その時、僕はドリップコーヒーを注文したついでに、こう尋ねました。

「今日は、応援ですか？」

「あ、そうなんです！ 私のこと、覚えててくれたんですか！？」

その時の彼女の嬉しそうな表情が、今でも忘れられません。

それから、彼女とはいつも砕けた会話を楽しんでいます。コーヒーを飲んだ後、口直しの水をオーダーしようとした時、彼女を狙って、

「すみません、お水を貰えますか？」

とオーダーすれば、いつも第一声は、
「あ！ こんにちは ^^」

と、可愛い笑顔を見せてくれます。お店が空いていれば、
そこから少し雑談を楽しんだりして、お互い楽しい時間を共有しています。

こんなことを言うと、

あなたから反感を買うかもしれませんが

はっきり言って、僕は女性にモテます。

女性から貰える評価は、いつもトップクラスにいる自信があります。

スタバだったら、ドリップコーヒーを注文するだけで、
女性店員から評価を勝ち取ることができます。

- ✓ **清潔感**のあるルックス
- ✓ コーヒーを受け取る時の、**爽やかな**笑顔
- ✓ **自信**に満ち溢れた「ありがとう」という返し

そのどれもが、女性が本能的に魅力を感じてしまう要素です。女性からしたら、僕は、決して無視できない存在なのです。それを僕は、意図的に演出しています。

おそらく、嬉しそうな反応をしてくれたその女性店員は、まだ仲良くなっていない時に、そんな僕の姿を、少し離れたところから見ていたのでしょう。だから、意識していた。

その前提があったからこそ、

「今日は、応援ですか？」

という質問に対して、
嬉しそうな表情を見せてくれた、というわけです。

言い忘れましたが、
僕はそれまで、彼女とは一度も話したことがありません
でした。

「かわいい子だな。」というのを覚えていて、たまたま他
店で応援しているのを見かけたから、さっきの質問をし
た、というだけです。

しかし、声をかけてもらえた彼女からしたら、「気になる
あの人に覚えてもらえていた！」ということだったので、
存在承認に繋がり、だからこそ彼女はとても嬉しそうな
表情を見せてくれたのです。

お互いの利害が一致していて、
WIN-WIN の関係になれているのが分かりますよね？

これが、とても大切です。

これは、女性店員を楽しませたケースの一例に過ぎませんが、やはり、声をかける以前に、狙った女性店員から「**気になる人**」として意識されていることが、大前提として必要かと僕は思います。

でなければ、どれだけ相手に対する思いやりの声かけをしたとしても「**面倒くさいな、この人。**」と思われてしまう可能性が高いからです。

要は、

「何を言うか？」ではなく、

「**誰が言うか？**」が大切だという話です。

ただ、ここで絶望を感じて欲しくないのは、狙った女性店員に、自分を意識させるコツというのは、**確かに存在している**、ということです。

それは、女性にパッと一目見られた時に、「雰囲気がかっこいい」と評価してもらえただけの**第一印象力**（この部分は、メルマガでより深くお伝えしていきます）を付けることと、それにプラスして、相手に、**自分の好印象を埋め込む**こと。この2つを行うだけです。

ここで最も注意しておきたいことは、**ドタイプの女性店員にだけに、いい格好を見せようとして、デレデレしないこと**です。

これは、僕も常々気を付けていることなのですが、男性は、ドタイプの女性を目の前にしてしまうと、途端にそ

の女性のことしか見えなくなりがちです。これが、第一印象はイケていても、狙った女性店員と仲良くなれないヘタレ男の最大の特徴です。

彼らは、恋愛経験が少ないだけに、ドタイプの女性を目の前にしたら最後、思考レベルが著しく低下するんですね。

鼻の下を伸ばして、デレデレしているようでは、全く話になりません。レベルの高い美人女性ほど、そういった男性の下品さを敏感に感じ取ります。

どこかいやらしさを感じて、非常に不快だから。

基本的に女性は、頭の良さが感じられる上品な男性を好みます。

だから、この**トラップ**（=罠）に陥ってはいけないのです。

僕だったら、目の前にドタイプの女性店員が現われた時は、こんなふうに対処します。

いきなり、狙った女性店員と仲良くなろうとするのではなく、他の店員を「**噛ませ犬**」にして（表現が悪いですが…）、自分の存在をアピールすることをします。

こうすることで、**自分の平常心を取り戻せますし**、何よりも、他の店員と楽しそうにしている空気を作り出すことで、**ドタイプの女性店員の意識が、自分に向く可能性が生まれます。**

僕の知り合いにも、めちゃくちゃ女性にモテモテの男性の方がいて、その方もよくスタバでお茶をしているそう

なのです。

その方は、背が高くて、男なら誰もが憧れる身体をしていて、眼光が鋭いせいもあってか、女性店員からは、少し怖がられていたそうなんです。ただある日、その方がスタバで飲み物を注文した時、対応してくれた 20 歳くらいの若い男性店員に、

「何か、ついてるよ？」

と言って、前髪についていたゴミをさりげなく取ってあげたというのです。その時の、面倒見の良さが伺えるシチュエーションを、他の女性店員も見ていたようで、それが高評価に繋がり、女性店員とも仲良くなったというエピソードを、以前その方から聞いたことがありました。

怖いと思っていた → 実は優しかった

これがギャップとなり、好印象に繋がったそうなんです。

これは、男女関係なく、魅力を感じる部分だと思います。僕の場合は、あまり怖いと思われることは少ないのですが、これと似たようなことをすることがあります。

例えば、狙った店員と、いきなり仲良くなることが難しいシチュエーションであれば、その店員は放っておいて、別の店員と仲良くなることを意図的にします。

僕がいつも気になってしまう女性店員は、やはり美人さんが多いので、そんな女性店員こそ、他の男性からもアプローチされることが多いので、僕は敢えて、狙った女

性店員には、はじめは接触しません。

仲良くなりやすい相性の良い他の女性店員や、男性店員と仲良くなって楽しい会話をして、狙った女性店員に対しては、

「お前なんて、興味ないし。」

といった感じで、目も合わせずに、少し冷たい態度を意図的に取ります。

しかし、美人な女性ほど、楽しそうにしている状況が好きなので、第一印象がイケてる風の男性が、他の店員と楽しそうに話しているのを見ると、どうしても無視できない状況が生まれます。(ただこの場合、店が混雑していない場合に限りますが。)

そうやって、自分を意識させるように誘導します。

「私も、あの人から声をかけられたいな…。」

そう思わせられれば、後はこっちのものです。

その前提の上で後日、狙った女性店員が注文を対応してくれた時に、例えば、

「今日のおすすめって、何かありますか？」

と訊いたりすれば、相手の価値観の中にさりげなく入ることができます。人には、**自分が良いと思っているものを、他の人にも知ってもらいたい**、という欲求を持っているので、そこを刺激してあげます。

「〇〇がおすすめてですよ！」（ここで、「！」が付くぐらい好反応なのは、前提があるからです。）

「そっか。ありがと。じゃ、それにするよ ^^」

と、爽やかな笑顔を見せつつ、自信に満ち溢れた「ありがとう」を言えば、狙った女性店員にとっても、響くものになる可能性は、高いと思います。さらに、女性店員からしたら、気になる人に、自分の意見を取り入れてくれたということで、**承認欲求**も満たせてあげられているので、かなりの高評価に繋がると思います。

冷たい態度だった → 自分の意見を受け入れられて、優しくされた

このギャップが、好感を獲得することに繋がり、そこか

ら仲良くなるのが簡単になる、という寸法です。

次、会った時に、

「この前、おすすめてくれたアレ、すごくおいしかったよ ^^」

たとえば、自分と相手だけしか通じない会話をしているので、特別感もあって、より仲良くなることができます。

少し、冗談を言い合える関係にまで発展したのなら、

「AとB、どっちにしようか迷ってんだけど、〇〇ちゃんはどっちがおすすめ？」

「そうですね～。Aがいいと思いますよ！」

「そっか。じゃ、Bにするわ。」

「なんで～！笑」

といったように、相手を傷つけることもなく、からかうような感じで、場の空気を和ませることもできます。女性店員に楽しい時間を提供してあげることができていますよね。

こんな会話を重ねていくことで

「この人というると、なんか楽しいな。」

という好印象を、どんどん埋め込んでいきます。
仲良くなれば、連絡先を交換することが自然な流れにも、
持っていくやすくなります。

■連絡先を交換する

狙った女性店員から、

「この人のこと、もっと知りたいな。」

と思わせるぐらい、仲良くなってきたら、
いよいよ、連絡先交換のオファーを投げる段階に入っ
ていきます。

が。

ここでも、考えが浅はかな多くのヘタレ男がかかってし
まう

トラップ（=罠）が潜んでいます。

それは何か？

「いやっほーい！ あの子と仲良くなれたぜ！ ではさっそく、連絡先交換のオファーを…」

と考えて、何の前触れもなく、いきなり、

「よかったら、連絡先を交換しませんか??」

と言い出してしまうことです。

ドタイプの女性店員と仲良くなれたことで、舞い上がってしまい
暴走してしまうんですね。

これでは、ほぼ確実に、

「え？ え…？」

と、相手の女性店員を困らせることになると思います。

これまで積み上げてきた信頼関係があるのに、いきなり連絡先交換のオファーを投げると、和気あいあいだった空気に亀裂が走り、動揺されてしまって、結果的に連絡先を交換できないんです。

これ、

どうしてか、分かりますか？

…

答えは、話の展開が急すぎるからです。

「どうして、いきなり連絡先交換しようなんて言い出すの…？」

と、相手の女性店員の頭の中で、疑問符（＝？）が生まれて、それが不信感に繋がってしまうからです。

これは、ショップ店員だけに限らない話ですが、女性に連絡先交換のオファーを投げるためには、**“ある条件”**を満たしておく必要があるのです。

それが、

連絡先を交換することが自然な会話の流れの中で、オファーを投げること

です。

何の前触れもなく、いきなり連絡先交換のオファーを投げるのは、**実に危険**です。コミュニケーションとして、

不自然さがあります。

女性心理としては、

「上手に、私を誘って欲しい。」

というのが、本音です。

だから、会話の中で、

「連絡先、交換しよ？」

と、男性であるあなたから言い出すのが、自然である会話のシチュエーションを作り出す必要があります。

例えば、こんな感じです。

「あ～、腹減ったあ～。」

「お腹すきましたね。」

(↑相手も、お腹がすいている時間帯を狙って、共感を誘う)

「○○ちゃんは、肉と魚だったら、今はどっちの気分？」

「そうですね…。がっつり肉が食べたいですね！」

「マジか、若いな(笑 俺は、あっさり魚がいいわ。」

「ほんとですかー？ 老け込んでませんか??笑 若返るために、肉食べましょうよ！笑」

「余計なお世話だわ(笑 ○○ちゃんも、そのうち魚が恋しくなる日がやってくるよ。」

「えー、絶対来ませんよー(笑」

「来るんだよなー、それが(笑 ○○ちゃんも、魚は食べるでしょ？」

「はい、たまーにですけど、食べますよ！」

「でしょ？ 魚料理が本当に美味しいお店に行けば、魚の美味しさにマジで目覚めるから！笑」

「ほんとですかー？ そんなお店、どこにあるんですか??」

「□□の繁華街に、すごく美味しいお店があるんだよ。よく行くんだ。今度空いてたら、連れてってあげるよ。めっちゃ魚が恋しくなるから(笑」

「絶対ウソだー(笑」

(↑この時の誘いのオファーは、冗談なのか、本気なのか分からない程度のさじ加減にしておきます。)

<数日後…>

「あ～、腹減ったあ～。」

「前も、同じようなこと言ってましたね(笑 あ！今日は私、魚の気分ですよ！お店連れてってください！笑」

「あー残念！俺ね、今日は肉の気分なんだよね～。○○ちゃん、ほんと使えんわあー。」

「ええ～！？笑」

相手をからかって、楽しい空気を演出しつつ、さりげなく相手の女性店員に、自分とデートしているイメージをさせてあげます。

こういった会話をするときには、前提として、

- ✓ あなたが、**兄貴分**
- ✓ 狙った女性店員が、**妹分**

という**パワーバランス**（あるいは、**ポジショニング**）だと、かなりしやすいと思います。

ここまでくれば、連絡先交換のオファーを投げて、何の不自然もないと思います。

**「そういえばさ、まだ連絡先交換してなかったよね？
○○ちゃんの都合がいい日に、前言ったお店連れて行ってあげるよ。」**

といったふうに、「お店に連れて行くため」という口実の下、連絡先を交換できると思います。

ここまで、連絡先を自然に聞き出せる状況を作り出したのは、**ちゃんと段階を踏んできたから**、です。

1. 「腹減ったー」による“空腹”の共感の引き出し

2. 「肉と魚どちらがいい？」という二択の質問
3. 「肉が良い」といった相手の回答に対する、からかう返し
4. そこからの、「めっちゃ美味しい魚料理屋に連れて行ってあげる」という、冗談なのか本気なのか分からない程度のさじ加減のオファー

こんな感じで、段階を踏むことで、相手の女性店員に、自分とデートしているイメージをさせて、自分を受け入れる準備をさせていく感じです。

ここから連絡先を訊き出す段階に入っていくのですが、実は、まだ気を付けておきたいことがあります。

ここまでくれば、段階的には、ほぼ確実に OK を貰えます。

が、まだトラップというか、抵抗が潜んでいます。

それは、なんだと思いますか？

…

それはですね、

**「人が見ている前で、連絡先を交換するのは、
恥ずかしい…」**

という女性心理です。

女性は、男性よりもずっと周りの目を気にします。

安易にお客さんと連絡先を交換して、それを周りの店員

やお客に見られていたら、

「あの子、軽いな〜」

「もしかして、ヤリマン？」

と思われる可能性が出てくるからです。

こうなると、その女性店員にとっては、困る現実を引き寄せることになってしまうんですね。

分かりやすい例として、男女が肉体関係を持つときの話をします。

女性は、「この人いいな」と思っているけど、付き合っている男性としかセックスしたくないと思っている傾向があります。

（男性が上手に誘い出せば、そんなのは関係なくなりま

すが、基本そう思っています。)

これ、どうしてだと思えますか？

...

理由は、

付き合ってもいないのにセックスしたら、周りから

「あの子はヤリマン」

だというレッテルを貼られるからです。

さらに、自分自身に対しても、そんなレッテルを貼ってしまうことになってしまうからです。

こうなると、とても辛いことになってしまうんですね。

だからこそ男性は、その女性心理を理解してあげることが、とても大切になってきます。

少し、嫌がる素振りをしていても（でも、本当はしたいと思っている）、多少強引に女性をラブホテルや自分の部屋に連れ込んで、女性の服を脱がせてセックスすることが、とても大切になるのです。

「だってあの人に、強引に誘われてしまったから。」

この言い訳が出来れば、周りや自分に対して、示しを付けることができるので、女性は自分を保つことができるのです。

だからこそ、男性は女性に対して、**押しが強くな**くなくては

いけないのです。

…

少し話が反れたので、
本題に戻しますね。

他の店員や、お客がいる前で、

「連絡先、交換しよう！」

と言い出せば、

「ちょっと…何言い出してくれるの!？」

と、相手を困らせたり、或いは怒らせたりする可能性がある
あるので、あまりおすすめはできません。

女性は、いいなと思っている男性から、**上手に誘われた**
いと思っています。

ですから、この場合は、

- ✓ **誰も見ていない場所で**
- ✓ **こっそりと**

連絡先を交換することが、ベストだと言えると思います。

例えば

- **他の店員がいないとき**
- **外の店裏で作業しているとき**
- **退勤して店を出た瞬間**

そんなシチュエーションを狙って、連絡先交換のオファーを投げると、その女性店員は喜ぶと思います。

あなたの気遣いにも気が付いてくれる可能性もあるので、さらなる好感度アップに繋がります。

もし、そういったシチュエーションに恵まれないのであれば、他の店員の目を盗んで、連絡先を書いた紙をサッと渡すだけでも良いと思います。ここまで、しっかり関係構築が出来ていれば、連絡先を書いた紙を渡すことも、ちゃんとしたコミュニケーションとして成立しているので、破り捨てられることもありません。

要は、他の店員やお客さんから分からないように、連絡先が交換できれば OK だという話です。

...

以上が、好みの女性店員から連絡先を訊き出す方法になります。

大切なのは、

しっかりコミュニケーションを取った上で、連絡先交換のオファーを投げる

ということです。

男女の恋愛においても、コミュニケーションが全てといっても過言ではありません。

しかしそれは、言葉を使ったものだけではありません。

見た目、雰囲気、声の出し方、目ヂカラ、身振り手振り、
etc

それら全てが合わさったものが、自分の情報として相手に伝わり、その結果として、良い反応になるのか、悪い反応になるのかが決まります。

このレポートでは、好みの女性店員を惚れさせることをテーマに書いたのですが、「考え方」の部分を主軸にお伝えしたので、

女性を惚れさせるために大切になる、

- ✓ **第一印象**を飛躍的に向上させる方法
- ✓ **男としての魅力**を高める方法
- ✓ より深掘した**恋愛テクニック**

など、まだこのレポートだけではお伝えしきれっていない部分がたくさんあります。

それらを掛け合わせたものが、あなたの**恋愛力**、すなわち好きになった女性を**惚れさせる力**になりますので、この部分につきましては、これから配信するメルマガを楽しみに待っていただければ、と思います。

ではでは、これから好みの女性を次々に惚れさせるモテモテライフを、一緒に作っていきましょう！

ここまで長文を読んでいただき、感謝します。

(ペンネーム)